

教科	音楽	単元名	リコーダー二重奏を楽しもう
----	----	-----	---------------

本時で育む主な情報活用能力

M-STEP 1, M-STEP 2
K-STEP 3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

・リコーダーの二重奏に合わせて、必要な楽器の音を選んで録音し、簡単な合奏曲を作成することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Garageband を活用してリコーダー奏の 2 つのパートを多重録音することで、フレーズのつなげ方や音の重なりを意識して演奏したり鑑賞したりすることができる。
- ・録音したリコーダーの二重奏に合った楽器やリズムを選んで録音したり、Garageband の機能を活用して音のバランスを整えたりすることを通して、児童 1 人ひとりが音楽のよさを感じ取り、思いや意図を持って表現することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Garageband(Apple) ・SKYMENU Cloud ・大型モニタ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時のめあてを確認する。 「リコーダーの二重奏に合わせた楽器の音を選んで、合奏曲をつくろう！」 【写真 1】	○大型モニタに、録音・音のバランス調整・ファイル変換等、学習の流れを提示し、見通しをもたせる。
展開 (35分)	○端末内に録音したリコーダーの二重奏を再生しながら、適した音を、拍子に合わせて選んだ楽器を使って演奏する。 ○複数の教室に分かれて、リコーダーの二重奏に合わせた楽器の音を録音する。 【写真 2】 ○録音した合奏曲の音のバランスを整える。 【写真 3】 ○録音した合奏曲を SKYMENU Cloud 提出箱に提出する。	○楽器を選んだら、前時までに Garageband に録音したりリコーダーの二重奏を流しながら、4 分の 3 拍子のリズムに合わせて演奏するように促す。 ○音楽室・教室・メディアセンター等に分かれて、1 人ずつ録音するように指示する。 ○Garageband の画面を大型モニタに投影し、音量・音色・音の定位などのバランスを整える方法を提示する。 ○録音した合奏曲の音源のファイル形式を変換した上で、提出するように指示する。
まとめ (5分)	○録音した合奏曲を聞き合い、本時の学習を振り返る。	○SKYMENU Cloud 提出箱内のファイルを共有できるようにし、友だちの音源を聞き合い、工夫しているところなどを発見するように促す。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】本時のめあてと学習の流れを確認している様子。



【写真 2】各教室に分かれて、リコーダー二重奏に合わせた楽器の音を録音している様子。



【写真 3】Garageband の機能を活用して、録音した合奏曲を整えている様子。

児童生徒の反応や変容

- リコーダー奏を多重録音させることで、音の明瞭さ・フレーズのつなぎ方・重なり方に気を付けて演奏する意識が高まっていた。
- タンバリン・トライアングル・カスタネットの他に、ピアノや木琴など得意な楽器や好きな楽器を、自ら選んで主体的に録音する姿も見られた。
- 完成した合奏曲を聞き合うことで音楽を形づくっている要素に気づき、次に工夫したい具体的なアイデアをふくらませていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 本時までにリコーダーの二重奏を録音したり、Garageband ファイルからオーディオファイル形式に変換したりすることに取り組むことで、ファイルの保存・呼び出し・共有に関わる情報活用能力を育成することができた。
- 複数パートを多重録音することにより、音と音の重なりや音楽を形づくっている要素を実感することができた。